



渋沢 栄一(しづさわ えいいち)

埼玉県深谷市生まれ

- 明治新政府の官僚を辞め、民間経済人としての道を選んだ
- 官僚から民間へ転身し、営利と公益の両立を目指す企業経営のあり方を示した。○日本に株式会社制度を根付かせるための啓蒙活動を行った ○「合本主義(かっほんしゆぎ)」(公益を追求する目的のために最も適した人材と資本を集め事業を推進させる)を提唱した

○日本資本主義の父と呼ばれた ○名言「富をなす根源は何かと言えば、仁義道徳。正しい道理の富でなければ、その富は完全に永續することができぬ」○第一国立銀行をはじめ、500以上の会社設立に関与し、近代日本の産業基盤を確立。○ガス、電気、

鉄道、海運、紡績など様々な分野で資本主義を推進

○生没年 1840～1931



松下幸之助(まつした こうのすけ)



- 和歌山県和歌山市生まれ○幼少期の貧困、尋常小学校4年で中退、事業の経営危機を乗り越えた○丁稚奉公から働き始め、正規の学校教育をほとんど受けられなかった。創業初期の資金難と製品の認知度向上の苦労した○貧しい農家の息子から「経営の神様」と呼ばれる世界的な経営者となった
- 名言「企業は人なり」「物をつくる前に人をつくる」
- PHP研究所を設立し、平和と繁栄を追求する活動を展開
- 日本に家電製品を普及させ、国民生活の向上に貢献
- 事業部制、終身雇用制度、週休二日制など、先進的な経営手法を導入○松下電器産業(現・パナソニック)を一代で世界的な大企業に育て上げた
- 生没年 1894～1989





稲盛 和夫(いなもり かずお) 鹿児島県鹿児島市生まれ

- 創業した会社の資金繰りの苦難を乗り越えた
- アミーバ経営という独特の経営管理手法を考案した
- 名言「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」
- 倒産寸前の日本航空(JAL)を無報酬で再建し、V字回復させた
- 京セラと第二電電(現・KDDI)という2つの巨大企業を創業
- 「京セラフイロソフイ」という独自の経営哲学を確立し、世界中の経営者に影響を与えた
- 生没年 1932～2022





本田 宗一郎(ほんだ そういちろう)

- 静岡県浜松市生まれ
- 資金繰り難、レーヌ用車両での事故と負傷、地震による浜松工場倒壊などを乗り越えた
- F1レーヌなどのモーターヌスポーツへの積極的な参戦と成功
- 名言「失敗を恐れるよりも、挑戦しないことを恐れる」
- 本田技研工業(ホンダ)を創業し、世界的な自動車・オートバイメーカーに成長させた
- 特にスーパーカブなどの製品で世界的な移動手段に革命をもたらした
- 生没年 1906～1991





能美 輝一(のうみ てるいち)

○関東大震災(1923年)の惨状を目の当たりにし日本の火災予防体制の遅れを痛感した○当時、科学的な予防よりも精神論に偏りがちだった日本の消防のあり方を改革するため、政財官界の有力者を説得し、防災事業を確立した日本の防災事業の
パイオニア

- 1916年に能美商會を創立 ○1924年に防災事業を開始
- 日本で初めて自動火災報知機などの科学的防災設備を開発・普及させ、日本の防災体制の近代化に決定的な貢献を果たした
- 1933年には三十三間堂に国宝初の火災報知機を設置
- 1936年には皇居に火災報知機を設置
- 従来の消火重視の消防から、科学的予防を重視する防災体制への転換を主導し、能美防災株式会社

(前身:日本防災通信工業)を創業した





鹿島 岩吉(かじま いわきち)埼玉県所沢市生まれ

- 伝統的な大工棟梁の仕事から近代的な建設請負業への転換した
- 最初の屋号は「大岩」で松平越中守(えっちゅうのかみ)の江戸屋敷を建築 ○日本初の鉄道工事に従事した
- 江戸時代末期から明治にかけて、鉄道、港湾、近代建築などの建設事業を手掛け、近代建設業の基盤を築いた
- 鹿島組(現・鹿島建設)を創業
- 鹿島建設を後に日本のトックスーパーゼネコンへと発展させる礎を築いた
- 生没年 1816～1885





清水 喜助(しみず きすけ)(初代)富山県富山市生まれ

- 若くして大工を志し、日光山で修行したのち、21歳のときに
神田鍛冶町で創業
- 1838年に江戸幕府の命により江戸城西ノ丸造営を請け負った
- 彦根藩井伊家・佐賀藩鍋島家の御用達を務めた
- 確かな仕事ぶりと世間からの信用により一介の職人から
幕府御用を務めるまで出世した
- 清水組(現・清水建設)を創業した
- 後のスーパージェネコンの一つである清水建設の創業の祖となり、
特に高い技術力で知られた
- 生没年 1783～1859





大倉 喜八郎(おおくら きはちろう)新潟県新発田市生まれ

- 農業・質店・鯉節店などを経て1857年に乾物店大倉屋を開業
- 横浜で黒船を見たことを契機に乾物店を廃業した
- その後、鉄砲店大倉屋・大倉組製材所・横浜水道会社・洋服裁縫店・大阪紡績会社・東京電燈・大倉組商会・帝国ホテルなど様々な事業に携わった
- 1893年に大倉組土木(現・大成建設)を設立した
- 大成建設はスーパーゼネコン5社の一つとなり世界で活躍している
- 生没年 1837～1928



竹中 藤右衛門(たけなか どうえもん)



- 愛知県名古屋生まれ ○竹中家第14代
- 戦国時代から続く家業を時代が変わる中で存続・発展させた
- 代々続く宮大工の技術を継承しつつ、時代に応じた新しい建築様式や技術を取り入れた
- 1909年に竹中工務店を設立し本店を神戸に置いた
- 竹中工務店は初代竹中藤兵衛の時代(1610年)に遡る家業であり宮大工の伝統を引き継いだ
- 近代以降も「作品主義」を掲げ、高い設計・施工技術を持つ建設会社としての地位を確立した
- 400年以上の歴史を持つ企業として、日本の建築技術の伝統と革新を担った
- 竹中工務店は唯一の非上場会社のスーパージェネコンとなった
- 生没年 1877～1965





大林 芳五郎(おおばやし よしごろう)

- 大阪府大阪市生まれ ○大阪の乾物問屋「大徳」の三男
- 1歳で大阪西区の呉服商に奉公に行った
- 1882年に独立して小売り呉服店を始めたが失敗した
- 1883年に土木建築業見習いとなった
- 1888年に独立し、1892年に建築請負業の
大林店(現・大林組)を創業した
- 大規模な公共工事や近代建築の受注競争を勝ち抜くための
信用と技術を獲得した
- 大林組は世界で活躍するスーパーゼネコンとなった
- 生没年 1864～1916





戸田 利兵衛(とだ りへい)初代 京都府生まれ

- 大工の四男として生まれ、宮大工の修行を積んだ
- 1881年に東京の赤坂で建設請負業を始めた
- 一時東京を離れたが1898年に再上京し京橋に社屋兼住宅を構えた
- 1908年に屋号を戸田方から戸田組(現・戸田建設)に改称した
- 早い段階から鉄骨造や鉄筋コンクリート造に取り組んだ
- 1910年にロンドンで開催された日英博覧会工事を受注し成功させた
- 戸田建設を準大手セネコンの一角に育て上げる基礎を築いた
- 生没年 1852～1920





水野 甚次郎(みずの じんじろう)四代目

- 広島県呉市生まれ ○15歳のときに薬の販売業をしていた父が病に倒れ学業を中断した○その後、宮原村の村会議員を務めた
- 1890年に地元の水野組の神原組の会計渉外担当者になった
- 1893年に神原組を改組して宮原土木同盟会社を設立・代表就任
- 1896年に自宅に個人経営の水野組(現・五洋建設)を設立して独立
- 各地の港湾土木工事を次々と成功させて技術と信用を高め
- 「水の水野組」と言われた
- 五洋建設は海上土木分野の日本のトップ企業の地位を確立した
- 生没年 1858～1928





西本 健次郎(にしもと けんじろう)岐阜県海津市生まれ

- 尾張藩士で普請奉行の松永林三郎の息子
- 廃藩置県後に一家離散して名古屋の呉服商に奉公したが
将来は家業の土木業での成功を願っていた
- 1885年に土木建築業の西本用助の下で働き、
見込まれて婿入りして家督を相続した
- 経営した西本組(後の三井建設・三井住友建設)は事業が拡大し、
鉄道工事では鹿島組・西松組と共に日本三大請負業者
と呼ばれた
- 生没年 1866～1950





間 猛馬(はざま たけま) 高知県生まれ

- 土佐藩士族の二男として生まれた
- 明治初期に上京して鉄道土木の技術を身につけた
- 「鉄橋小川」の異名を誇っていた小川勝五郎から支援を受けて
門司で創業
- 九州鉄道本社工事を請け負って成功させた
- 日清・日露戦争を契機に朝鮮・満州へ進出し事業を拡大した
- 間組(現・安藤ハザマ)の創業者
- 安藤ハザマは土木に強い準大手ゼネコブとなった
- 1858年生まれ





熊谷 三太郎(くまがい さんたろう)福井県敦賀市生まれ

- 1898年に宿布発電所の土木工事を請け負った
- 1907年に中尾発電所工事で飛鳥組の下請けとなり、
1926年に飛鳥組取締役就任
- 1938年に熊谷組を創立
- のちに北陸発祥の準大手ゼネコンとなった。
- 熊谷組はトンネル工事(青函・黒部・関電・関門・関越)を
多く手掛け「トンネルの熊さん」と呼ばれる
- 生没年 1871～1951



五島 慶太(ごとう けいた)長野県小県郡生まれ



- 農家の生まれで父が製糸業に手を出し失敗する等で苦学生だった
- 関東大震災後の東京の郊外開発と、鉄道・バス・百貨店・不動産などを連携させた大規模な都市開発戦略を推進した
- 名言「人の成功と失敗の分かれ目は、第一に健康である。次には熱と誠である。体力があつて熱と誠があれば必ず成功する」
- 東京横浜電鉄の経営危機からの再建、戦後の財閥解体と公職追放を乗り越えた ○東京急行電鉄(東急)を創業し、鉄道、不動産、流通、レジャーなどを統合した東急グループの礎を築いた
- 東急建設もこのグループの流れを汲む。交通、不動産、エンターテインメントを統合した「沿線開発ビジネスモデル」を確立
- 買収や合併を繰り返し、東急グループを巨大なコンглоメリット



へと成長させた

○生没年 1882～1959



藤田 一郎(ふじた いちろう)

- 広島県東広島市生まれ
- 農家に生まれた
- 土木建築業の見習いの傍ら夜学に通い、建築や簿記を学んだ
- 24歳のときに広島市で土木建築業を開始した
- 1916年に小倉の陸軍兵舎の工事を受注し「藤田組」を名乗った
- 1937年に株式会社広島藤田組(現・フジタ)を設立した
- その後、フジタは準大手ゼネコンとなった
- 生没年 1886～1949





前田 又兵衛(まえだ またべえ)福井県福井市生まれ

○1919年に土木事業を創業した

○最初の事業は木曾福島第二水力発電所建設

○たつた5人の部下を率いて「事業は人格の反映なり」という

理念をもとに誠実な仕事を成し遂げた

○その後も高瀬川発電所・足羽川発電所・宮下発電所を施工し

日本の電カインフラ整備に貢献

○1946年に飛鳥組前田事務所を前田建設工業株式会社に

改組した

○難易度の高い土木技術を蓄積し同社は大手ゼネコンに発展した

○生没年 1877～1948



奥村 太平(おくむら たへい)奈良県生まれ



- 1907年、当時27歳のときに父親が亡くなって母と幼い弟・妹の生活を背負うことになるなか、「いかなる難局でも飛び込んで忍耐する覚悟がある。他人が難しがつて尻込みするような業務に就きたい」という覚悟で、個人で土木建築請負業を創業
- 戦時中に解体された通天閣の復活を願う地元新世界の人々の熱意に応え約1年の超突貫工事の末、高さ103mの「二代目通天閣」を完成させた(1955)
- 1938年に株式会社奥村組を創立した
- 奥村組は「堅実経営」と「誠実施工」を信条とする
- 日本のセネコンとなった
- 生没年 1880～1973



鴻池 忠治郎(ごうのいけ ちゅうじろう)



○大阪府大阪市生まれ

○1871年に父から家業の船問屋を引き継ぐとともに土木や建設の人員を供与する個人事業を創業

○1898年に大洪水が起きた淀川の改良工事を担当した

○1900年に日本初の民間平炉工場の

日本鑄鋼所(現・住友鑄鋼場)を建設した

○1918年に関西建設業界で初となる株式会社化した

○2020年には積水ハウスの連結子会社となった

○鴻池組創業者

○鴻池組は創業150年を超える日本の中堅ゼネコンに発展した

○生没年 1852～1945



盛田 昭夫(もりた あきお)愛知県名古屋生まれ



- 創業初期の資金不足と品質管理、トランジスタ製造の困難、製品を世界市場に認知させるための苦勞を乗り越えた
- 日本の「安からう悪からう」というイメージを払拭し、製品ブランドを高品質なグローバルブランドとして確立させた
- 名言「不景気になったらイオフせず社員教育を行え」
- ウォークマンの父と呼ばれた
- 東京通信工業(現・ソニー)を共同創業し、特に海外展開を主導しソニーを世界的なエレクトロニクス企業に育てた
- トランジスタラジオ、トリニトロンテレビ、ウォークマンなどの革新的な製品を世に送り出した ○世界の市場で「SONY」ブランドを高品質と革新性の代名詞にした ○生没年 1921～1999



出光 佐三(いでみつ さざう)福岡県宗像市生まれ



- 戦後の石油統制とGHQによる解体危機、創業期の大規模な資金調達之苦勞を乗り越えた ○労働組合を置かない
- 「大家族主義」の経営方針を貫いた ○社員的首切りを拒み戦後の厳しい時代を乗り越えた ○海賊と呼ばれた男
- 名言「わが社の資本はカネでなく、人間だ。カネは資本の一部だ。いちばん大切なのは人。人が第一であって、人が事業をつくり、事業がカネをつくる。カネは人についてくる」
- 出光興産を創業し、石油元売り会社として日本のエネルギー供給に大きく貢献 ○戦後の混乱期に社員の雇用を守り独自の労使関係を構築 ○イランからの石油輸入を強行し日本のエネルギー自立に貢献(日章丸事件)

○生没年 1885～1981





三島 海雲(みしま かいうん)大阪府箕面市生まれ

○学校を卒業して教師になった ○モンゴル滞在中に酸乳

(牛乳などの乳を乳酸菌で発酵させた発酵乳)を飲み体調回復を経験 ○1917年に乳酸菌が入っているラクターキヤラメルを発売するが失敗 ○長年の研究と試行錯誤の末に、乳酸菌飲料の製造技術を確立した

○「初恋の味」という商品キッツコビーを考えた

○名言「若者よ！私心を離れよ。そして大志を持って」

○日本初の乳酸菌飲料「カルピス」を開発・製造し、

カルピス株式会社を創業。日本人の健康と食文化に貢献

○生没年 1878～1974





堤 康次郎(つつみ やすじろう)滋賀県愛知郡生まれ

- 4歳のときに父が亡くなり、18歳のときに母と祖父母が亡くなり、妹と共に途方に暮れた ○故郷の田んぼを担保にお金を借りて上京し早稲田大学を卒業した ○貧しい生い立ちから独学で成功への道を切り開いた ○最初に不動産事業に着手したのは中軽井沢駅周辺の別荘地開発
- 箱根の10万坪の土地を買収した
- 1920年に箱根土地株式会社を設立した
- 西武グループ(西武鉄道、国土計画など)の基盤を築き、「西武王国」と呼ばれる巨大企業群を創設
- 武蔵野鉄道(現・西武鉄道)・国土計画興業(現・プリンスホテル)を創業



○生没年 1889～1964

石橋 正二郎(いしはし しょうじろう)



○福岡県久留米市生まれ ○着物の仕立て屋の二男として生まれ
家業を継いだ後、足袋製造に専念する

○1918年に日本足袋株式会社を設立し、日本の四大足袋メーカー
の一つとなった

○1930年に日本初の純国産自動車用タイヤを完成させた

○名言「遠きを謀る者は富み、近きを謀る者は貧なり」

○ブリヂストンタイヤ(現・株式会社ブリヂストン)を創業し、

世界有数のタイヤメーカーに育て上げた

○日本の自動車産業の発展に不可欠なタイヤの国産化に成功した

○文化・教育分野にも多額の私財を投じ、石橋財団や

アーティゾン美術館を設立 ○生没年 1889～1976



鳥井 信治郎(とりのしんじろう)



- 大阪府大阪市生まれ ○両替商・米穀商の二男として生まれる
- 13歳で薬問屋に丁稚奉公して洋酒の知識を得た
- 20歳で鳥井商店を創業 ○1907年に赤玉ポートワインを発売し、1921年に株式会社寿屋を設立
- 日本の風土に合ったウイスキー造りのための長い試行錯誤を経た(寿屋時代) ○日本で洋酒を普及させるためのマーケティングの苦労を乗り越えた
- 日本人の舌に合う「ジャパニーズウイスキー」の味を追求した
- 名言「やってみなはれ」 ○サントリールホールディングスの創業者
- 日本の洋酒文化の基礎を築き、飲料・食品業界におけるリーディングカンパニーを育て上げた ○生没年 1879～1962



飯田 新七(いいだ しんしち)初代



- 福井県敦賀市生まれ○中野宗兵衛の子として生まれ、幼名を鉄次郎と言った ○11歳で呉服店に丁稚奉公した
- 近江国高島郡(現・滋賀県高島市)出身で米穀商を営んでいた 飯田儀兵衛に見込まれて娘婿として迎え入れられた
- 天明の大飢饉から水野忠邦による天保の改革へ繋がる時代で質素節約を求められていたことから古着を求める人が多く、古着商を営むことにした ○開店して間もなく隣に同じような店ができた時、新七は隣との違いを作るために「誰よりも早く店を開ける」「朝早く起きたならば自分の店だけでなく近所中も清掃をする」ことを始めた ○「早起きで働き者の店」との評判を得ることになり、開店間もない『高島屋』の信用となった
- 高島屋はのちに上場に至る百貨店となった

○生没年 1803～1874





豊田 喜一郎(とよだ きいちろう)

- 静岡県湖西市生まれ ○貧困の家庭を顧みることなく発明に没頭する夫に愛想を尽かした母親が家出したため祖父母の家で育つ○欧米に比べ圧倒的に遅れていた自動車産業への参入、第二次大戦後の経営危機とストライキを乗り越越えた
- 自動車製造技術ゼロからの習得と国産化を成し遂げた
- 名言 「今日の失敗は工夫を続けてさえいれば必ず明日の成功に結びつく」「やれるかやれぬかではなくて、誰がやるかなんだよ」
- 父・豊田佐吉の意志を継ぎ、豊田自動織機製作所内に自動車部を設立。後のトヨタ自動車工業(現・トヨタ自動車)を創立し、国産車の開発と量産体制の礎を築いた ○日本の自動車産業の夜明けを告げ、世界的な巨大企業トヨタの基礎を確立

○生没年 1894～1952



矢野 博丈(やの ひろたけ) ○中国北京市生まれ



○父は戦時中に中国天津市の病院に勤務していた医師

(父母ともに日本人) ○高校時代にいじめを受けたがボクシングに打ち込み不良に困まれても負けない腕力を身につけた

○日雇い肉体労働、チリ紙交換、運転手等様々な仕事を経験し

転職9回、夜逃げ同然1回、火事1回という波乱の人生

○28歳で雑貨をトラックで移動販売する事業を創業

○ある日の開店準備中に待ちきれない沢山の客達が勝手に商品
の段ボールをあけて値段を何度も聞くことから仕方なく「もう全部
百円でええ」と回答すると商品が一気に売れたことから百円均一
がうまれた。1977年に大創産業を法人化、世界で活躍する

100円ショップとなった ○生没年 1943～2024





小林 一三(こばやし いちぞう)山梨県生まれ

○鉄道事業の沿線開発において、住宅分譲、百貨店、遊園地、劇場などを一体的に展開するという、前例のないビジネスモデルを確立した

○名言「都市を開発することは文化を創造すること」
「下足番を命じられたら日本一の下足番になってみる。」

そうしたら誰も君を下足番にしておかぬ」

○阪急電鉄や阪急百貨店、宝塚歌劇団、東宝などの企業を設立、現在の阪急阪神東宝グループの礎を築いた

○交通、不動産、流通、エンターテインメントを統合した「沿線開発ビジネスモデル」を確立した ○鉄道会社を単なる輸送業ではなく、都市文化を創出する事業へと進化させた

○生没年 1873～1957





土光 敏夫(どこうとしお)岡山県岡山市生まれ

- 日本経済の体質改善を担う経団連会長として、公害問題や
オイルショック後の産業構造転換をリードした
- ミスター合理化、財界のゴツボフアーザーと呼ばれた
- 名言「役員は社員の倍働きなさい」
- 経営危機に陥った石川島重工業(現・IHJ)の再建、東京芝浦電気
(現・東芝)の経営危機を救い、再建を成功させた
- 経団連会長として、日本の財政再建と行政効率化に貢献
- 日本の重工業と電機産業の二大柱を救済し、後に財界のトツプ
として日本経済全体の構造改革を主導した
- 生没年 1896～1988





江崎 利一(えざき りいち)佐賀県佐賀市生まれ

- 創業時の資金調達、戦時中の工場閉鎖を乗り越えた
- 牡蠣からのグリコーゲンの抽出と製品化の技術的困難を乗り越えた
- 栄養価の高い菓子という新しいコンセプトを市場に受け入れさせるためのマーケティングを成功させた
- 菓子業界に「健康」と「おまけ」という新しい価値観を持ち込み、巨大食品メーカーへと発展させた
- 江崎グリコを創業し、世界で初めて牡蠣のグリコーゲンを配合した「グリコ」を発売
- 「一粒300メートル」というキャッチフレーズとおまけ付き菓子という画期的な販売手法を確立
- 江崎グリコは世界で活躍する日本の上場企業となった
- 生没年 1882～1980





井深 大(いぶか まさる) 栃木県 栃木市 生まれ

- 終戦直後の創業時の資金と技術の不足、テープレコーダーや
トランジスタラジオ開発の技術的な壁を乗り越えた
- 名言「仕事の報酬は仕事だ。それが一番うれしい」
- 日本で初めてテープレコーダーを開発。トランジスタ技術の導入を
主導し、企業を世界的なエレクトロニクス企業へと導いた
- 東京通信工業(ソニー)を共同創業し、社長・会長として、
技術革新を重視した経営を展開
- 盛田昭夫と共に、世界に通用する「SONY」ブランドを創造し、
日本のエレクトロニクス産業の地位を確立
- 生没年 1908～1997

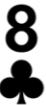




中内 功(なかうち いさお)大阪府大阪市生まれ

- 創業時の資金調達之苦労、既存の流通業界からの強い反発と対立、オイルショックやバブル崩壊後の経営危機を乗り越えた
- 日本の複雑な多段階流通システムを破壊し、消費者に安価な商品を届けるという理念を貫いた ○日本の流通システムに革命を起こし、高度成長期の国民生活の低価格化に貢献
- 名言「人間の能力にそんなに差はない。やる気さえあれば、誰でもたいていのこと是可以る」
- 流通産業大学(現・流通科学大学)創設者
- ダイエーを創業し、「価格破壊」をスローガンにスーパーマーケットチェーンを全国展開

○生没年 1922～2005





藤田 田(ふじた でん)大阪府大阪市生まれ

○東京大学法学部在学中に、授業料と生活費を稼ぐために通訳の仕事をしていた際、GHQの兵士(ユダヤ人)からユダヤ商法を学び、在学中の1950年に輸入雑貨販売店を設立した ○1968年にユダヤ人の会社からナイフとフォーク300万本を受注し製造業者に発注したが納期に間に合わなくなりそうになりボーイング707をチャーターして大損失を被ったが納期は守れた。これが功を奏してさらにナイフとフォーク600万本の受注を得たが、再度、納期に間に合わなくなりそうになり再び飛行機をチャーターして大損失を被ったが、「約束を守る日本人」であることが世界中のユダヤ人に伝わった

○日本マクドナルドや日本トイザらスを創業した

○生没年 1926～2004



鮎川 義介(あゆかわ よしすけ)山口県山口市生まれ



○戦前の日本最大の財閥の一つを一代で築き、日本の重工業化を推進した ○満州重工業開発の運営と戦後の財閥解体を乗り越えた ○満州における事業の経営と政治的圧力への対応、戦後の事業再建を成し遂げた

○名言「人間として中小企業の経営者くらい信用のおけるものはない。かれらは責任感が人一倍強く、一生懸命働く。」

そうでなければ中小企業というものは存在できない」

○日本産業(日産)コンツェルンを形成し、日立製作所、日産自動車、日本鉱業などの多岐にわたる企業を傘下に収めた

○特に日産自動車の基礎を築き、日本の自動車産業の発展に貢献。満州では満州重工業開発の総裁を務めた

○生没年 1880～1967





永野 重雄(ながの しげお) 島根県松江市生まれ

- 財界四天王の一人といわれた
- 鉄鋼製品の国際競争力を高めるための技術革新と、巨大な組織の統合と意識改革を成し遂げた
- 日本の経済成長を支える鉄鋼産業の合理化と巨大化を成功させた
- 名言「事業を成り立たせる秘訣は、結局、人間の信頼と企業力」
- 八幡製鉄と富士製鉄を合併して新日本製鐵(現・日本製鉄)を誕生させ、世界の鉄鋼業界でリーダーシップを発揮した
- 生没年 1900～1984





竹鶴 政孝(ただけつる まさたか)広島県竹原市生まれ

- スコットランドでのウイスキー製造技術の習得、帰国後のサントリーでのウイスキー開発、独立後のニッカウイスキー設立時の資金難を乗り越えた
- 日本の気候風土に合ったウイスキーの製造地探しと、本場のスコッチに負けない品質を追求した
- 日本のウイスキーの父と呼ばれた
- 後に独立して大日本果汁(現・ニッカウイスキー)を設立
- 日本におけるウイスキー産業の確立に尽力した
- 日本のウイスキーを世界に通用するレベルに引き上げ、洋酒文化を定着させた

○生没年 1894～1979





伊藤 忠兵衛(いとう ちゅうべえ)初代

- 滋賀県犬上郡生まれ ○1858年に麻布類の行商を始めた
 - 第一次世界大戦後の不況と戦時下の経済統制、戦後の財閥解体による経営の再構築を乗り越えた
 - 伝統的な近江商人の精神を継承しつつ、近代的な総合会社へと組織を拡大・変革させた
 - 名言「商売人にとって重要なことは機敏であること」「商人はいかなるときでも嘘を言わぬこと」
 - 伊藤忠商事の二代目として、伝統的な呉服・綿糸商から、総合会社への転身を主導。特に海外市場への進出と、多岐にわたる事業展開を成功させた
 - 伊藤忠商事、丸紅の二つの総合会社の源流を確立し、
- 日本の貿易・流通を担う巨大商社の基礎を築いた
- 生没年 1842～1903



神田 正(かんだ ただし)



- 埼玉県日高市生まれ
- 幼少期の貧困を乗り越え12歳からアルバイトを開始
- 中学卒業後に就職するも15の職を転々とする
- 1973年に大宮で中華料理の来々軒を開業
- 2021年の新型コロナウイルスで赤字経営になった際、
逆に社員に臨時ボーナスを支給して感謝を伝えた
- 中華食堂「日高屋」等を運営するハイデイ日高の創業者
- ハイデイ日高は世界で活躍する日本の上場企業となった
- 社員やアルバイトへの感謝から5億円分の自社株式を贈与した
- 1941年生まれ



大原 孫三郎(おおはら まごさぶろう)



- 岡山県倉敷市生まれ
- 第一次世界大戦後の不況、特に繊維産業の衰退を乗り越えた
- 企業の利益を社会に還元するという理念を経営の根幹に置いた
- 名言「仕事は三割の賛同者があれば着手すべきだ。
五割も賛同者がいればもう手遅れ」
- 倉敷紡績(クラボウ)などを経営し、
特に労働環境の改善と社会貢献に尽力
- 大原奨農会農業研究所(現・岡山大学資源植物科学研究所)、
大原美術館、倉敷中央病院などを設立し、日本の文化・医療・
福祉の発展に多大な貢献をした
- 近代経営と社会事業を両立させ、地方都市(倉敷)の文化・学術
の基盤を築いた。



○生没年 1880～1943



佐治 敬三(さじ けいぞう)大阪府大阪市生まれ

- 1945年に寿屋に入社、1931年に同社の社長に就任
- 飲料、食品、ビール、バイオ事業などへの多角化を進める中で、
創業者の理念と経営の効率性を両立させた
- 名言「失敗してもええから、全力でやれ」「出る杭は伸ばす」
- 1971年に関西公共広告機構(現・ACジャパン)を設立
- 寿屋(現・サントリー)創業者鳥井信治郎の次男
- サントリーの二代目社長に就任
- 多角化戦略を押し進め、サントリーを総合酒類・飲料メーカーとして飛躍的に発展させた
- 生没年 1919年～1999年



小平 浪平(おだいら なみへい)



○栃木県栃木市生まれ

○父が多額の借金を残して病没し兄が医師になる道を諦めて就職して学費を出してくれた ○大学卒業後は電気主任技術者として就職して発電所づくりに携わる

○1906年に久原鉱業所に工作課長として入社する

○1910年に国産初の5馬力モーターの製作に成功する

○会社に新工場の建設を嘆願し、日立市に工場が建設され

1911年に日立製作所を設立し、1920年に独立し、1929年に同社の初代取締役社長に就任した

○日立製作所は日本を代表する総合電機メーカーとして

世界で活躍する上場企業となった

○生没年 1874～1951



鍵山 秀三郎(かぎやま ひでさぶろう)



○東京都千代田区生まれ

○自動車業界に就職するも荒くれ者の多い業界の中で、職場環境

を変えようと考え、トイレ掃除を始める ○掃除を続けることで

先輩からのいじめを受けたりするが掃除を続けた ○業界の

不透明な商慣行(タイヤチェーンの冬季の高額販売などに抗して、

1961年に独立した後も誠実な価格とサービスを買いた

○トイレ掃除などの改善活動が社員に受け入れられるまで10年以上

の時間を要し、自発的参加が広がるまで孤軍奮闘で続けた

○名言「凡事徹底」「ものを整理し掃除することは

頭を掃除することでもあり、ムダや汚れに気づくようになる」

○カー用品チェーン「イエローハット」を創業し、卸から小売への転換

で全国チェーン化を推進 ○イエローハットは世界で活躍する

○生没年 1933～2025





田村 市郎(たむらいちろう)山口県萩市生まれ

- 元々は釜山で商店を開いて海産物の仲買などをしていた
- その後、トローロール漁業(底引き網での漁業の一種)に着目し
- 1911年にトローロール漁業の事業を創業し
- 1920年に民間初の水産研究機関を設立した
- 創業した事業と他の事業等の吸収・合併等を経て
- 1937年に日本水産株式会社(現・ニッスイ)に社名変更された
- ニッスイは世界で活躍する日本の上場企業となった
- 生没年 1866～1951





安藤 百福(おんどう ももぶく)

- 台湾(当時は日本領)生まれ
- 食の流通に革命を起こし、世界の食文化に多大な影響を与えた
- 名言「足るを知ればおのずと感謝の気持ちが湧いてきて心が和らぐ」
- 投獄、インスタントラーメン開発時の技術的困難、世界展開における食文化の壁を乗り越えた
- 日清食品を創業し、世界初のカップ麺「カップヌードル」を発明
- 「チキンラーメン」と、世界初のカップ麺「カップヌードル」を発売
- 80歳を超えてもなお宇宙食ラーメンを開発するなど生涯をかけて食の創造に尽力した

○生没年 1910～2007





西山 弥太郎(にしやま やたろう)神奈川県中部生まれ

- 12人兄弟の十男として生まれた
- 14歳のときに母方の親戚の金物店の手伝いをしていたときに金物屋は儲かると感じた
- 金物の原料となる鉄を造ることがさらに儲かると考え、工学部で学び、製鉄所で製鉄の実地を学んだ
- 学校卒業後、川崎造船所に入社した
- 1950年に川崎製鉄(現・JFEスチール)の初代社長に就任した
- 生没年 1893～1966





櫻田 慧(さくらだ さとし)岩手県大船渡市出身

○10人兄弟の末っ子として生まれた

○元々証券会社に勤務していた

○「感謝される仕事かしたい」「仲間と共に同じ目標に向かって

成長できる組織を作りたい」と考えて独立を決意

○アメリカに駐在していた頃に出会ったトミーズというハンバーガー

ショップが思い浮かび、日本人に合うハンバーガーを開発して

1972年に東武東上線成増駅前に1号店をオープン

○モスバーガーのモスフードサービスは世界展開する日本の

上場企業となった

○生没年 1937～1997





川崎 千春(かわさき ちはる)茨城県生まれ

- 学校卒業後は、川崎信託(現・三菱UFJ信託)、帝都タクシー(現・帝都自動車交通)を経て、京成電気軌道(現・京成電鉄)等で働く
- 1958年に同社の第5社長に就任する
- 同年バラ園づくりのためにバラ買付けに訪問したアメリカで開業後間もない遊園地を視察して感銘を受け、日本への誘致を構想するも一旦断念した
- 1960年にオリエンタルランドを設立し、様々な苦難を乗り越え、社長退任後、1983年に東京ディズニーランドが開園した
- 生没年 1903～1991



鈴木 三郎助(すずき さぶろうすけ)



- 神奈川県三浦郡生まれ
- 12歳のときに米穀商で住み込みの見習いとなる
- 16歳で独立して商売をするも米相場に財産をつぎ込んで無一文となり、1890年に母と妻が始めたかじめ焼き(海草をあぶり焼きにして沃度灰を作る作業。ヨードを抽出して薬品を作るのが主な目的)を手伝うようになりこれが成功する
- グルタミン酸を主要成分とする調味料の特許の実施契約を得て1909年に「味の素」を販売した
- 味の素株式会社は世界で活躍する日本の上場企業となった
- 生没年 1868～1931





蟹江 一太郎(かにえ いちたろう)愛知県東海市生まれ

- 農家の長男として生まれる
- 1899年にトマトなどの西洋野菜の栽培に着手するが、販売しても全く売れずに困った
- 欧米ではトマトを加工してソースとして使用することを知り1903年にトマトソースの製造を開始
- 1908年にトマトケチャップやウスターソースの製造を開始
- 1914年に愛知トマトソース製造台資会社(現・カゴメ)を設立
- カゴメは世界で活躍する日本の上場企業となった
- 生没年 1875～1971





中島 董一郎(なかしま どういちろう)

- 愛知県西尾市生まれ
- 眼科医の家柄で父が親戚から借金の保証人を頼まれ破産
- 夜逃げのような状態で名古屋に引越し、9歳で母を亡くした
- 農商務省の海外実業実習生に選ばれて欧米に派遣され
マヨネーズと出会い、日本人の栄養不足改善を思いつく
- 1919年に食品工業株式会社(現・キューピー)を設立した
- キューピーは世界で活躍する日本の上場企業となった
- 生没年 1883～1973



アールグレイ

永谷 嘉男(ながたに よしお)東京都出身

- 現代の煎茶の基礎を築いた江戸時代の茶業家の子孫
- 太平洋戦争に従軍し、復員後、戦争で焼失した実家の茶の製造業の再建を目指した
- 1952年に江戸風味お茶づけ海苔を発売したところ大ヒット
- 1953年に株式会社永谷園本舗(現・永谷園ホールディングス)を設立。
- 日本の和風料理に革新的なアイデアを取り入れ、インスタントの味噌汁・寿司のもとなどがヒット
- 永谷園ホールディングスは世界で活躍する日本の上場企業となった
- 生没年 1923～2005

アールグレイ

トランス

遊び方

○トランプに書かれている情報を少しずつヒントとして発表しながら

①経営者の名前②会社名等を当てるクイズができます

○トランプに書いていない情報でも、自分で勉強した知識をヒント

として提供したりと、自由に遊び方を考えてOK

○本トランプは、日本の経営者・偉人の魅力の再認識と、

今の日本があることへの感謝を意図して制作しました

○本トランプは2025/12/31時点のAIを使用して制作したもので、

AIの情報に誤りがある場合があります。また、歴史の理解、

認識、解釈、意見については多様な意見があることから、

あくまで一つの意見としてご参照いただけますと幸いです。

トランプ